

卓越大学院プログラム 事後評価結果

機関名	東北大学	整理番号	1803
プログラム名称	人工知能エレクトロニクス卓越大学院プログラム		
プログラム責任者	山口 昌弘	プログラムコーディネーター	金子 俊郎

卓越大学院プログラム委員会における評価

〔総括評価〕 A：計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。
〔コメント〕 卓越した学位プログラム、「知のプロフェッショナル」を養成する体制等の構築については、高等大学院機構等の全学的な教育・指導・支援体制が構築されており、複数のディシプリン横断型学位プログラムが全学的に管理・質保証されている。また、副指導教員など指導教員以外の教員や企業、政府機関など学外者からの指導・助言を大半の学生が受けており、多様なプログラム担当教員・産官の協力者による指導が充実している点、外部評価委員会からの助言を得て PDCA サイクルを機能させている点は評価できる。KPI については、プログラム履修生数や国際会議論文数・国際学術論文数・受賞数等の学生の研究成果に関わるものは当初の目標を達成できており、高く評価できる。一方で、長期間の実績は多いものの海外派遣件数が少ない点については、今後の改善が望まれる。 修了者の成長については、アンケート結果では、修了者は俯瞰力や独創力並びに高度な専門性に関して様々な能力が向上したと感じており、9割以上の学生が担当教員のプログラムへの理解、教員間の協働、学生のプログラム参加への理解・支援等を高く評価している。卓越リーダーセミナー・PBL 科目・シンポジウム・講習会などに加え、学生がプログラム参加を通して国内外企業および大学研究者と多様に交流することで、進路・職業選択について自身の視野・選択肢が広がった等の学生のコメントもあり、プログラムの効果も肯定的に評価されている。 キャリアパスの構築については、学際融合教育と産学連携教育のカリキュラム（特に PBL 科目群）が整備され、学生の履修が過度な負担にならないような工夫・配慮もされている。約 95%の学生が、一ヶ月以上の研修・インターンシップに参加または参加予定である点や在学中でも就職を可能にする在学就職制度を博士課程学生の新たなキャリアパスとして導入している点も評価できる。一方、アンケート結果ではインターンシップへのポジティブな評価は 68.7%に留まっており、海外企業等も含めインターンシップ先を広げるなど学生の意欲を高める更なる工夫と改善が望まれる。令和 5 年度までの実績として、アカデミアに 16 名、産業界に 19 名が就職し、幅広い業種で活躍しておりプログラムの効果として評価できる。また、修了生が後輩の指導にあたる試みも、好循環を生む望ましい取り組みであり、今後の展開に期待したい。 大学院全体への波及効果及び事業の継続・発展については、本卓越プログラムが先鞭付けとなり、高等大学院機構や大学院改革推進センター等の全学体制の下、横断型学位プログラムの大幅な拡充と全ての大学院生の参加が目指されている点は大きく期待できる。また学内資金に加え、学外資金についてもアドバンスト・ベーシック教育パートナー企業との継続的な関係を構築している点も評価できる。